
V. 各大会競技規定

1. 東京都高等学校対抗大会・東京都高等学校選手権大会・東京都高等学校女子体重別大会 兼 関東高等学校柔道大会東京都予選会 兼 東京都ジュニア体重別選手権大会推薦選手選考会(55kg 級のみ実施)

(1) 試合方法について

a. 男子団体の部

- ① 1チーム5名の「点取り試合」とする。
- ② チーム編成は、監督1名、選手5名(先鋒から軽量級3名・無差別2名)、補欠2名(軽量級1名・無差別1名)の合計8名とする。外国人留学生のチーム人員は1名以内とする。
- ③ 体重区分は、軽量級73kg以下とする。補欠の出場は登録した階級に限る。
- ④ 代表戦は、任意の選出とする。

b. 女子団体の部

- ① 1チーム3名の「点取り試合」とする。
- ② チーム編成は、監督1名、選手3名(先鋒から軽量級2名・無差別1名)、補欠2名(軽量級1名・無差別1名)の合計6名とする。外国人留学生のチーム人員は1名以内とする。
- ③ 体重区分は、軽量級57kg以下とする。補欠の出場は登録した階級に限る。
- ④ 代表戦は、任意の選出とする。

c. 男子個人の部

- ① 関東高校大会予選として、体重無差別のトーナメント戦を行う。
- ② 東京都ジュニア体重別選手権大会推薦選手選考会として、55kg級のトーナメント戦を行う。

d. 女子個人の部

- 7階級(48kg・52kg・57kg・63kg・70kg・78kg・78kg超)のトーナメント戦とする。さらに上位4名による決勝リーグ戦を行う。

(2) 審判規定について

試合は「国際柔道連盟試合審判規定」によって行う。

(3) 試合時間について

a. 男子団体の部

準決勝(順位決定戦も含む)まで3分間とし、決勝のみ4分間とする。

b. 女子団体の部

準決勝(順位決定戦も含む)まで3分間とし、決勝のみ4分間とする。

c. 男子個人の部

準決勝(順位決定戦も含む)まで3分間とし、決勝のみ4分間とする。

d. 女子個人の部

準々決勝まで3分間とし、決勝リーグは4分間とする。

(4) 抽選・シード基準について

a. 男子団体の部

第1シード

前年度優勝

第2シード

前年度準優勝

第3シード

前年度第3位

第4シード

前年度第4位

第5シード

支部大会優勝

第6シード

支部大会準優勝

第7シード

支部大会第3位

第8シード

支部大会第4位

※他は支部代表者の責任抽選とする。

b. 女子団体の部

上記「男子団体の部」に準ずる。

c. 男子個人の部

第1シード

支部大会優勝

第2シード

支部大会準優勝

第3シード

支部大会第3位

※他は支部代表者の責任抽選とする。

d. 女子個人の部

上記「男子個人の部」に準ずる。

(5) 順位(代表)決定について

a. 男子団体の部

①代表が9校の場合

まず、トーナメント戦を行い、準々決勝進出校が第1～8代表となる。次に、3回戦敗退校(ベスト16)の8校により、順位決定トーナメント戦を行い、第9代表を決定する。

②代表が10校の場合

まず、トーナメント戦を行い、準々決勝進出校が第1～8代表となる。次に、3回戦敗退校(ベスト16)の8校により、順位決定トーナメント戦を行い、第9・10代表を決定する。

b. 女子団体の部

①代表が7校の場合

まず、トーナメント戦を行い、準決勝進出校が第1～4代表となる。次に、準々決勝敗退校(ベスト8)の4校により、順位決定トーナメント戦を行い、第5～7代表を決定する。

②代表が8校の場合

トーナメント戦を行い、準々決勝進出校が第1～8代表となる。

c. 男子個人の部

トーナメント戦を行い、決勝進出選手が第1・2代表となる。また、準決勝敗退選手(ベスト4)の2名により、補欠決定戦を行う。

d. 女子個人の部

●参加者が8名以上の場合

まず、トーナメント戦を行い、上位4名からは決勝リーグ戦により上位2名を代表とする。なお、決勝リーグ戦における同一校選手どうしの対戦は、第1試合に行うものとする。

●参加者が6～7名の場合

参加者を2つの予選リーグ(A・B)に振り分け、各リーグ上位2名を決勝トーナメント進出とする。決勝トーナメントの組合せは、「Aの1位」対「Bの2位」および「Bの1位」対「Aの2位」とする。

●参加者が5名以下の場合

参加者総当たりのリーグ戦を1回行い、上位2名を決定する。

※リーグ戦の順位決定基準は、以下の通りとする。GSの有無は考慮しない。

(1)必ず勝敗を決する。(判定あり)

(2)順位は、勝ち数の多い選手を上位とする。

(3)上記(2)で同等の場合は、「一本」勝ちの多い選手を上位とする。

(4)上記(3)で同等の場合は、「技あり」優勢勝ちの多い選手を上位とする。

(5)上記(4)で同等の場合は、「有効」優勢勝ちの多い選手を上位とする。

(6)上記(5)で同等の選手が2名の場合、両者の対戦の勝者を上位とする。

(7)同じく、上記(5)で同等の選手が3名の場合、抽選により上位を決定する。

(6) 試合場について

1回戦から正規の試合場で行う。

(7) 勝敗の判定基準について

東京都高体連柔道専門部大会実施規定「Ⅱ. 審判規定について」を参照のこと。

(8) 申し合わせ事項について

東京都高体連柔道専門部大会実施規定「Ⅲ. 申し合わせ事項について」を参照のこと。

2. 東京都高等学校総合体育大会 兼 全国高等学校総合体育大会柔道競技大会東京都予選会

(1) 試合方法について

a. 男子団体の部

①1チーム5名の「点取り試合」とする。

②チーム編成は、監督1名、選手5名、補欠1名の合計7名とする。外国人留学生のチーム人員は1名以内とする。

③代表戦は、任意の選出とする。

b. 女子団体の部

①1チーム3名の「点取り試合」とする。

②チーム編成は、監督1名、選手3名、補欠1名の合計5名とする。外国人留学生のチーム人員は1名以内とする。

③代表戦は、任意の選出とする。

c. 男子個人の部

7階級(60kg・66kg・73kg・81kg・90kg・100kg・100kg超)のトーナメント戦とする。

d. 女子個人の部

7階級(48kg・52kg・57kg・63kg・70kg・78kg・78kg超)のトーナメント戦とす

る。

(2) 審判規定について

試合は「国際柔道連盟試合審判規定」によって行う。

(3) 試合時間について

a. 男子団体の部

準々決勝まで3分間とし、決勝リーグは4分間とする。

b. 女子団体の部

準決勝まで3分間とし、決勝のみ4分間とする。

c. 男子個人の部

準決勝まで3分間とし、決勝のみ4分間とする。

d. 女子個人の部

準決勝まで3分間とし、決勝のみ4分間とする。

(4) 抽選・シード基準について

a. 男子団体の部

第1シード

前年度優勝

第2シード

前年度準優勝

第3シード

前年度第3位

第4シード

前年度第4位

第5シード

支部大会優勝

第6シード

支部大会準優勝

第7シード

支部大会第3位

第8シード

支部大会第4位

※他は支部代表者の責任抽選とする。

b. 女子団体の部

上記「男子団体の部」に準ずる。

c. 男子個人の部

第1シード

支部大会優勝

第2シード

支部大会準優勝

第3シード

支部大会第3位

※他は支部代表者の責任抽選とする。

d. 女子個人の部

第1シード

前年度「総体」都予選、前年度「選手権」都予選、当年度「関東」都予選の優勝

第2シード

前年度「総体」都予選、前年度「選手権」都予選、当年度「関東」都予選の準優勝

第3シード

前年度「総体」都予選、前年度「選手権」都予選、当年度「関東」都予選のベスト4

第4シード

前年度「総体」都予選ベスト8

※他は支部代表者の責任抽選とする。

(5)順位(代表)決定について

a. 男子団体の部

まず、トーナメント戦を行い、上位4校からは決勝リーグ戦により、上位2校を決定する。第3位を補欠校とする。なお、決勝リーグ戦におけるチーム間の勝敗が同内容の場合、引き分けとする。

※リーグ戦の順位の決定基準は、以下の通りとする。

(1)3勝、2勝1分、2勝1敗、1勝2分、1勝1分1敗、1勝2敗、3分、2分1敗、1分2敗、3敗の順とする。

(2)上記(1)で同等の場合は、リーグ戦を通じ勝ち数の多いチームを上位とする。

(3)上記(2)で同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを上位とする。

(4)上記(3)で同等の場合は、「技あり」による勝ち数の多いチームを上位とする。

(5)上記(4)で同等の場合は、「有効」による勝ち数の多いチームを上位とする。

(6)上記(5)で同等の場合は、負け数の少ないチームを上位とする。

(7)上記(6)で同等の場合は、「一本」による負け数の少ないチームを上位とする。

(8)上記(7)で同等の場合は、「技あり」による負け数の少ないチームを上位とする。

(9)上記(8)で同等の場合は、「有効」による負け数の少ないチームを上位とする。

(10)上記(9)で同等の場合は、抽選を行う。

(6)試合場について

1回戦から正規の試合場で行う。

(7)勝敗の判定基準について

東京都高体連柔道専門部大会実施規定「Ⅱ. 審判規定について」を参照のこと。

(8)申し合わせ事項について

東京都高体連柔道専門部大会実施規定「Ⅲ. 申し合わせ事項について」を参照のこと。

3.東京都高等学校学年別大会

(1)試合方法について

a. 男子団体の部

①1チーム3名の「点取り試合」とする。

②チーム編成は、監督1名、選手5名の合計6名とする。外国人留学生のチーム人員は1名以内とする。

③オーダーの変更は毎回認められる。

④代表戦は、任意の選出とする。

b. 女子個人の部

- ① 1 学年および 2 学年の部は、3 階級(52kg・63kg・63kg 超)のトーナメント戦とする。
- ② 3 学年の部は、2 階級(57kg・57kg 超)のトーナメント戦とする。

(2) 審判規定について

試合は「国際柔道連盟試合審判規定」によって行う。

(3) 試合時間について

a. 男子団体の部

準決勝まで 3 分間とし、決勝のみ 4 分間とする。

b. 女子個人の部

準決勝まで 3 分間とし、決勝のみ 4 分間とする。

(4) 抽選・シード基準について

a1. 男子団体の部(1 学年・2 学年)

第1シード

前年度「1 学年の部」優勝

第2シード

前年度「1 学年の部」準優勝

第3シード

前年度「1 学年の部」ベスト 4

第4シード

支部大会優勝

第5シード

支部大会準優勝

第6シード

支部大会第 3 位

第7シード : 支部大会第 4 位

※他は支部代表者の責任抽選とする。

a2. 男子団体の部(3 学年)

第1シード

前年度「2 学年の部」優勝

第2シード

前年度「2 学年の部」準優勝

第3シード

前年度「2 学年の部」ベスト 4

※他は支部代表者の責任抽選とする。

b1. 女子個人の部(1 学年・2 学年)

第1シード

支部大会優勝

第2シード

支部大会準優勝

第3シード

支部大会第 3 位

※他は支部代表者の責任抽選とする。

b2. 女子個人の部(3 学年)

第1シード

当年度「総体」都予選または当年度「関東」都予選優勝

第2シード

当年度「総体」都予選または当年度「関東」都予選準優勝

第3シード

当年度「総体」都予選または当年度「関東」都予選ベスト4

※他は支部代表者の責任抽選とする。

(5) 試合場について

1回戦から正規の試合場で行う。

(6) 勝敗の判定基準について

東京都高体連柔道専門部大会実施規定「Ⅱ. 審判規定について」を参照のこと。

(7) 申し合わせ事項について

東京都高体連柔道専門部大会実施規定「Ⅲ. 申し合わせ事項について」を参照のこと。

4. 東京都高等学校新人大会・東京都高等学校女子団体柔道大会 兼 全国高等学校柔道選手権大会東京都予選会

(1) 試合方法について

a. 男子団体の部

- ① 1チーム5名の「勝ち抜き試合」とする。
- ② チーム編成は、監督1名、選手6名の合計7名とする。外国人留学生のチーム人員は1名以内とする。
- ③ オーダー変更は毎回認められる。
- ④ 代表戦は、任意の選出とする。

b. 女子団体の部

- ① 1チーム3名の「点取り試合」とする。
- ② チーム編成は、監督1名、選手3名(先鋒52kg以下、中堅63kg以下、大将無差別)、補欠2名の合計6名とする。外国人留学生のチーム人員は1名以内とする。
- ③ 代表戦は、任意の選出とする。

c. 男子個人の部

5階級(60kg・66kg・73kg・81kg・無差別)のトーナメント戦とする。

d. 女子個人の部

5階級(48kg・52kg・57kg・63kg・無差別)のトーナメント戦とする。

(2) 審判規定について

試合は「国際柔道連盟試合審判規定」によって行う。

(3) 試合時間について

a. 男子団体の部

準決勝(順位決定戦を含む)まで3分間とし、決勝のみ4分間とする。

b. 女子団体の部

準決勝まで3分間とし、決勝のみ4分間とする。

c. 男子個人の部

準決勝まで3分間とし、決勝のみ4分間とする。

d. 女子個人の部

準決勝まで3分間とし、決勝のみ4分間とする。

(4) 抽選・シード基準について

a. 男子団体の部

第1シード

前年度優勝

第2シード

前年度準優勝

第3シード

前年度第3位

第4シード

前年度第4位

第5シード

支部大会優勝

第6シード

支部大会準優勝

第7シード

支部大会第3位

第8シード

支部大会第4位

※他は支部代表者の責任抽選とする。

b. 女子団体の部

上記「男子団体の部」に準ずる。

c. 男子個人の部

第1シード

支部大会優勝

第2シード

支部大会準優勝

第3シード

支部大会第3位

※他は支部代表者の責任抽選とする。

d. 女子個人の部

上記「男子個人の部」に準ずる。

(5) 順位(代表)決定について

a. 男子団体の部

①代表が3・4校の場合

まず、トーナメント戦を行い、決勝進出校が第1・2代表となる。さらに、残りの準々決勝進出校6校により、順位決定戦を行い、第3・4代表を決定する。

②代表が2校の場合

トーナメント戦を行い、決勝進出校が第1・2代表となる。また、準決勝敗退校(ベスト4)の2校により、補欠決定戦を行う。

b. 女子団体の部

①代表が2校の場合

まず、トーナメント戦を行い、上位4校からは決勝リーグ戦により、上位2校を決定する。第3位を補欠校とする。なお、決勝リーグ戦におけるチーム間の勝敗が同内容の場合、引き分けとする。

※リーグ戦の順位決定基準は、以下の通りとする。

- (1) 3勝、2勝1分、2勝1敗、1勝2分、1勝1分1敗、1勝2敗、3分、2分1敗、1分2敗、3敗の順とする。
- (2) 上記(1)で同等の場合は、リーグ戦を通じ勝ち数の多いチームを上位とする。
- (3) 上記(2)で同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを上位とする。
- (4) 上記(3)で同等の場合は、「技あり」による勝ち数の多いチームを上位とする。
- (5) 上記(4)で同等の場合は、「有効」による勝ち数の多いチームを上位とする。
- (6) 上記(5)で同等の場合は、負け数の少ないチームを上位とする。
- (7) 上記(6)で同等の場合は、「一本」による負け数の少ないチームを上位とする。
- (8) 上記(7)で同等の場合は、「技あり」による負け数の少ないチームを上位とする。
- (9) 上記(8)で同等の場合は、「有効」による負け数の少ないチームを上位とする。
- (10) 上記(9)で同等の場合は、抽選を行う。

②代表が1校の場合は、通常通り。

(6) 試合場について

1回戦から正規の試合場で行う。

(7) 勝敗の判定基準について

東京都高体連柔道専門部大会実施規定「Ⅱ. 審判規定について」を参照のこと。

(8) 申し合わせ事項について

東京都高体連柔道専門部大会実施規定「Ⅲ. 申し合わせ事項について」を参照のこと。